



# 森嶋、僧侶になるって

～元サラリーマン、僧侶への道～その5 そして僧侶へ

得度習礼行って参りました！今回はその様子を、  
かいつまんでではありますがお伝えしたいと思います。



昨年10月、京都の阪急桂駅より徒歩5分程にある、浄土真宗本願寺派の「西山別院」に隣接する得度習礼所にて11日間頑張ってきました。コロナ禍の為、通常100名程の参加があるのですが今回は40名が参加。

携帯や私物の持ち込みは禁止で、講義以外で外に出る事もできません。部屋は8畳ほどの和室+荷物を置く棚があった程の広さでした。本来は3～4人で使用する部屋を、時節柄、間にパーティションを設置して2名で使用。棚には法衣や持ち物を置くのですが、衣をきちんと畳めていないと抜き打ちでチェックされます。(僕はリュックのチャックが少し空いていて注意されました！)

気になる部屋のお相手は関東からいらっしゃった50代の男学生。物腰が非常に柔らかい素敵な方。高校生になる息子さんがお坊さんになりたいらしく、その前に自身がお坊さんになろうと決めて得度習礼に参加されたそうです。お相手がこの方で助かりました。

部屋とは別で班があって、僕の班は10名。20～80代と幅広い世代の班で、個性が豊かで皆さん愛すべき人々ばかり。これもご縁だな～と思いました。

1日の流れは、5:30起床、5:50～朝礼、清掃、朝のお勤め。朝食の後、9～12時まで授業。昼食後、13時30分～授業、清掃、夕方のお勤め、夕食、授業、夜のお勤め、21時頃～自習&お風呂、22時30分消灯。といった感じで、一応休憩時間もあるのですが、

着替えやお経の練習をしたり、呼び出されたりと、洗濯をする時間はほとんど無く、けっこうハードなのです。

ご飯は1日3食頂けて、メイン(お肉やお魚も頂きます)、副菜(2品程)、汁、ご飯とバランス良い食事です。手作り風で非常に美味しいのです。全員が揃ってから食前・食後に「食事のことは」を唱和します。「おしゃべりしながら楽しく食べたい！」とありますが、食事中は私語厳禁。命の尊さをがみしめながら頂きます。

授業内容は、浄土真宗についての座学、お経の実習、本願寺への参拝と様々。先生方に熱心にご指導頂きかなり刺激になりました。「僧侶とは何か」や「どんな僧侶になりたいか」など、色々考えさせられました。

親鸞聖人が9歳～29歳の間天台宗の僧として修業されていたので、旧跡参拝として比叡山にも行きました。この授業は得度習礼史上初めての事らしく、只の観光では無くて非常に内容が濃く貴重な研修でした。実際に厳しい修行をされている現場を拝見させて頂いたり、修行を修められた宮本祖豊さんのお話を聞かせて頂く事ができたりと大変刺激を受けました。(比叡山での様子は善称寺のSNSに詳しくアップしています)

お勤めは善称寺で毎日しているのが難なくこなせましたが、やはり正座だけは大変！

1日計5～6時間正座する事もあり、これが連日続きますので足の疲労は絶頂に。生まれて初めて足が千切れるかと思いました。途中で座り方のコツを覚えましたが、それでもやはり痛いものは痛いです。皆、次の授業が正座がどうかでハラハラしていました。

そんな中唯一の癒しがお風呂の時間でした。といっても15分程しか無いのですが。特に若い子達は「早く家に帰りたい！」と少々ホームシック気味で見ていて面白かったです。

7日目、最終日前日にある「得度式」に向け頭を剃って頂きました。理容師の研修生さんが剃髪してくれるので、毎年頭が血まみれになる



寺男の独り言です…



中谷さんにいただいた蘭です

大寒、水沢腹堅(サワミズコオリツメル)の真っ只中です!! 寒さに強い寺男が電気毛布を購入。寄る年波には勝てません!

昨年 立冬…小春日和のある日…ザク口剪定する。大小二つの脚立を用意して略半日仕事!! 離れて見た時の姿を傘のように…下から見る枝振りがよろしいように剪定する。脚立、ザク口の上で四苦八苦!! 剪定後の後片付けが略2時間!! お陰で残業する羽目に…(笑い) 汗だく! 疲労困憊。ヨレヨレで帰宅!!

話が変わるが、私の楽しみの毎週日曜の老人走行会(オジン4人での自転車走行会)は、コロナの為、暫く中止という事に決定。

それから春頃に三方五湖に走りに行く予定も…うーん行けるのだろうか? 去年の春もコロナの為、三方五湖輪行を延期している。今年も延期かな!?! まあ、いつか行ければ良い!

さて、生垣の山茶花(朝倉)が赤い蕾から白い花に変わる…華やかな花を長い間楽しませてくれたが、そろそろ終わりに近付いて来ました。これからは山野草が次々咲きます…タンポポ、タツナミソウ、…他。見付けてやって下さい。昨年末に中谷さん墓参りに来られ、頂いた蘭が今年は花芽が付かなかったと伝えたら、蕾の付いた蘭を新しく一鉢持ってきて頂き、サロンで可愛い花を咲かせています。毎年、二鉢とも咲き続けるように育てたいです。

皆さん どうぞ、ご自愛の程…



秋に寺東側の道路際花壇に植えた60個のチューリップ 球根が20芽程可愛い顔を出しました! 全部咲くかな!?! 春よ来い!!

寺男・マトバ

いくつかお伝えさせて頂いた通り、「冥福を祈ります」…これはまだ成仏してない方に対する表現です。浄土真宗では、七き人は阿彌陀如来さまのおはたらきによって、いのちの縁尽きたと同時に浄土へ生まれ、悟りの身となられていると説きます。ですから、死後の幸福(冥福)を祈る必要はありません。

「安らかに眠りください」…こちらもよく使われる言葉で、人間の心情からいえば確かにそうだなと思うところもあります。しかし、浄土真宗の教えの上では、お浄土へ生まれたい方は、そこでゆっくり眠って

- 突然のお知らせを受け、ご家族様の深い悲しみをお察し致します。
- 在りし日の面影を偲び、謹んで哀悼の意を表します。
- 在りし日のお姿を偲びつつ、心からお悔やみ申し上げます。
- 逝去の報に接し、心よりお悔やみ申し上げます。
- 往生の報に接し、謹んで哀悼の意を表します。
- 突然の悲報に接し、悲しみにたえません。
- 謹んで哀悼の意を表し、偲んでお念仏申します。
- 逝去の報に接し、ご家族の皆様のお悲しみを思いつつ、お念仏申します。
- お悲しみの事と拝察し、また会える弥陀の救いを有難く思いつつお念仏申し上げます。
- 往生浄土の素懐を遂げられたことまことに尊く、共に浄土での再会を期してお念仏申します。